

平成27年度施策評価シート

基本施策	多くの人々に地域の魅力を知ってもらう		
総合計画での位置付け	政策	4	「にぎわい」にあるまちをめざして
	分野	1	観光
主要な計画	・産業振興計画		
基本施策を実施する背景や課題・目的	<p>・官民一体となったもてなしのこころの醸成やユニバーサルデザインに配慮した施設整備、東海北陸自動車道の全線開通、フランスのミシュラン・グリーンガイド・ジャポンにおける最高評価である三ツ星での紹介、積極的な誘客活動などにより、本市における観光客の入込み数は増加傾向にある。特に外国人観光客数の増加が顕著となっており、平成17年の89,500人から平成25年には151,000人となっている。しかし、経済情勢の変化などが今後の入込み数に影響を与えることが懸念される。</p> <p>・本施策は、豊かで安定した市民生活を営むことのできる基盤として、地域の資源や特性を活かした産業が活発な「にぎわい」のあるまちづくりをすすめるため、多くの人々に地域の魅力を知ってもらうことを目的としている。</p>		

1 概要

施策	施策の内容	これまでの取り組み	担当 当局
1 戦略的な 誘客 宣伝	効果的な地域の魅力の発信	・観光ガイドブック、ポスター等の紙媒体やHPを活用し、飛騨高山の魅力をPRした。 ・旅行博への出展、大都市圏の駅や物産展と連携したキャンペーン等の誘客事業を実施した。 ・高山市観光連絡協議会が行う観光客誘致推進事業(メディア事業、WEB事業、広告宣伝事業、地域誘客宣伝事業等)に対して助成を行った。	商 工 部 観 光
	外国人観光客の積極的な誘致	・周辺都市や関係機関と広域連携し、海外への積極的な誘客活動を展開した。 ・中国、台湾、香港、韓国、フランスなどにおける旅行博でのブース出展を行うとともに、政府関係者、旅行代理店等へのセールスコール、旅行代理店やメディアなど招聘を行い、高山市の魅力のPRを行った。	ド ブ ラ ン 戦 略 部 海 外
	小中学校や高等学校の教育旅行の誘致	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合、バス事業者、グリーンツーリズム受入組織等、民間団体と連携した誘客事業により誘客を図った。 ・体験型旅行パンフレットの作成やエージェント訪問、メディアによる宣伝等で教育旅行の誘致を図った。	商 工 部 観 光
	飛騨・高山コンベンションビューローと連携した国内外のコンベンションの誘致	・高山市内で開催される国際会議等の主催者に対して助成を行い、コンベンション開催による地域経済の活性化と交流人口の拡大を図った。 ・飛騨・高山観光コンベンション協会に対する助成を行い、コンベンション誘致活動を積極的に実施した。	商 工 部 観 光
	飛越能経済観光都市懇談会や松本・高山・金沢・白川郷誘客協議会などと連携した広域的な誘客	・飛越能経済観光都市懇談会や越中・飛騨観光圏協議会、ぶり街道推進協議会、北陸飛騨3つ星街道誘客推進協議会、飛騨地域観光協議会等の広域的団体と連携し、広域的観光ルートのPRなどの誘客宣伝を実施した。 ・越中・飛騨観光圏協議会等の広域連携により、北陸新幹線開業を見据えた2次交通(バス路線)の実験運行を実施し、2次交通の充実を図った。	商 工 部 観 光 部

2 指標の推移

指標名	単位	関連施策	好ましい方向	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標
観光客入込数(日帰り)	千人	全て	↑	1,983	1,760	1,641	1,808	1,964	2,024	5,000 (日帰り+宿泊)
観光客入込数(宿泊)	千人	全て	↑	2,057	2,052	1,840	1,961	1,981	2,001	5,000 (日帰り+宿泊)
外国人観光客数(宿泊者数)	人	1-イ	↑	148,000	187,000	95,000	151,000	225,000	280,000	300,000
教育旅行入込数	人	1-ウ	↑	82,616	88,442	92,961	103,780	97,277	87,365	-
コンベンション開催支援補助金実績	件	1-エ	↑	35	39	27	35	47	69	-

3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために改善等を行う優先度	
H21	点数	61.1	(平均) (54.6)	67.5	(平均) (79.7)	Ⅳ	低い
	順位	42施策中 10 番目		42施策中 39 番目			
H25	点数	61.8	(平均) (56.9)	72.4	(平均) (81.8)	Ⅳ	低い
	順位	43施策中 10 番目		43施策中 40 番目			
H27 (今回)	点数	63.6	(平均) (56.0)	73.2	(平均) (81.2)	Ⅳ	低い
	順位	43施策中 6 番目		43施策中 39 番目			

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		ブランド・海外戦略部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	戦略的な誘客	<ul style="list-style-type: none"> 行ってみたいと感じさせる情報発信として、効果的なトップセールスの実施、国・地域のニーズにあったPRなどを行うとともに、昇龍道プロジェクトなど周辺自治体等と連携してPRをしたことにより、外国人観光客が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後のさらなる誘客と来訪者の滞在時間を伸ばし宿泊者数を増やすため、飛騨高山ウルトラマラソンへの外国人誘致や文化鑑賞や体験を盛り込んだテーマ性、趣味性の高い観光(SIT=Special Interest Tours)の造成を促進し広くPRする。

担当部局		商工観光部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	戦略的な誘客	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会へのコンベンション開催支援補助金の開設や、アニメ氷菓の散策マップとポスターの作成など、新たな観光客層の取り込みを実施した。 北陸新幹線金沢駅開業など観光客の流れの変化や、少子高齢化、人口減少などへの対応が必要と考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連団体等との協働などによるターゲットを明確にした誘客宣伝 多様な情報媒体の活用などによる観光情報発信

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客数が伸び悩んでいる。 ・国内での観光地間競争が激化している。 <p>ということが挙げられる。</p>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度は高く、今後の重要度は低くなっているが、観光は市の主要産業であり、経済や雇用に大きな影響を及ぼすことを踏まえ、産業振興計画をはじめとする諸計画に基づき、戦略的な誘客を行っていく必要がある。</p> <p>特に、広域的な連携や民間との連携をすすめるとともに、マーケティングによる戦略的な方針を立て、観光客数の増加につながるようなプロモーションを展開していく必要がある。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<p>・コンベンション開催支援補助金実績は年々増加傾向にあり、一定の成果が見られるため、今後も方法と成果を検証しながら継続する必要がある。</p> <p>・これからの観光は点でなく線、さらには面といったつながり・広がり求められており、これまで以上に広域連携を進めていくことが必要である。</p>

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成27年度事業評価における担当課評価)

関連 施策	事業 コード	事業名	評価	事業費決算額(千円)	
			点数	H25年度	H26年度
1-ア	62100	観光宣伝推進事業費	70	21,829	24,083
1-ア、ウ	62130	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	80	19,300	19,300
1-ア	62145	観光協会等補助金(コンベンションを除	70	114,591	114,987
1-ア	62155	旅フェア協賛事業費	70	2,981	3,159
1-イ	21526	海外戦略推進事務費	90	32,361	44,076
1-エ	62145-2	観光協会等補助金(コンベンションビューロ助成、コンベンション開催支援)	80	15,443	21,083
1-オ	62150	観光振興関係事務費	70	8,538	14,729

平均点	H25年度	H26年度
75.71	215,043	241,417